

リフォーム前

両親から受け継いだ思い出の詰まった家は、床柱や雪見障子など立派な造りでしたが、間取りは南側に和室、北西側にLDKを配置した典型的な昭和の家。

そのため、日当たりの悪いLDKは不便を感じる日々で明るい和室はほとんど使われない状況でした。

そこで、家全体を家族が集える温かい場所へと生まれ変わらせ、より快適な空間を作ることがリフォームの目的でした。



①閉ざされた和室



②重厚な床柱のある仏間



③時を刻んだ美しい雪見障子



④かつての美を支えた欄間



⑤陽当たりの良い縁側



⑥暗く閉鎖的なキッチン



改修前平面図

改善ポイント

1. 陽当たりの良い空間へ
家族が集まるスペースを南側に配置し、自然光を取り入れ明るい空間に変換。

2. 動線の最適化
キッチン・洗面・パントリー・玄関ホール、ダイニングをつなぐ回遊性の高い動線を確保。

3. 収納力の向上
適所に収納を設け、大容量のパントリーで、片付け上手になれる仕組みを提案。

リフォーム後



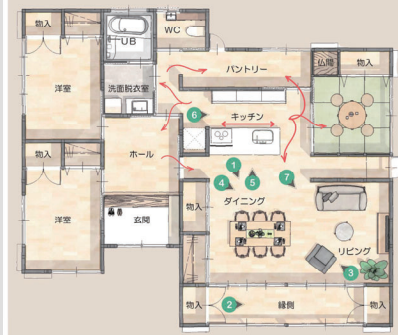
家族が自然と集まるリビングは、雪見障子や縁側などの伝統美を活かし、現代の暮らしに合わせた快適な間取りに仕上げました。

全体のデザインは、和モダンと北欧デザインを融合させたJapandiスタイルを採用。穏やかで心地よい空間を実現しています。

また、断熱性能の向上にも注力しました。断熱材を新たに導入し、開口部にはペアガラスの内窓を設置。これにより、冬は暖かく、夏は涼しい快適な住環境を整えています。

キッチンは家の中心に配置し家全体を見渡せる回遊動線を設計しました。この動線により家事効率が大幅に向上し、家族とのコミュニケーションが自然に生まれる空間になりました。

さらに、家事効率と収納のしやすさを意識した間取りで、便利で居心地の良い住まいを実現しました。



改修後平面図



イメージパース



①雪見障子越しの柔らかな光が包み込むダイニング



②日常に溶け込む縁側



③リビング 家族の笑顔がつながる、ひとつながりの空間



④陽当たりがよく、家族が集いくなるリビング



⑤清潔感あふれるキッチン



⑥使いやすいバックカウンター ⑦リビング オーク材の家具とともに



応募者・施工者	設計者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有邦開発株式会社	有邦開発株式会社一級建築士事務所 有水 香織	26年	木造平屋	一戸建て	令和5年12月	90日間	1,270万	鹿児島市	全面リフォーム